

本間 敏行

〔ふらの未来の会〕

地域の雇用対策は

**問** 地元土木業者廃業後の従業員の再就職の動向と雇用対策は。

**答** 昨年廃業した土木工事業者につきましては、正社員14名の全員が再就職し、今年廃業した土木工事業者の正社員16名については、再就職5名、求職中7名、その他4名になっており、引き続き関係機関・団体と連携し、再就職に向けて努力していく。

子育て支援の充実は

**問** 乳幼児等医療制度について子育て支援の拡大を考え、体力的に未成熟な小学6年生まで、非課税世帯・課税世帯に関わらず入院及び通院費の無料化実現の考えは。

**答** 医療費の無料化の対象範囲の拡大は、子育て家庭の一層の経費負担の軽減となるものであり、多様な子育て支援の施策が求められる中で、そのニーズと

効果を検討しながら、具体的に実施する施策を選択する。現在、新たな子育て施策を進めているところであり、その中で乳幼児医療費助成の対象範囲の拡大についても検討していきたい。

**問** 認可保育所の保育時間延長の考えは。

**答** 子育て世代の若い人たちが働きながら子供を安心して出産し育てられる、育児と就労を両立できる環境づくりは、若い人たちの定住を図り、子どもを増やす上からも大切なことと認識している。現在、認可保育所再編による新たな保育所の開設に向け保育体制の検討を進めており、保育時間の延長についても併せて検討していく。



認可保育所（中央保育所）

後藤 英知夫

〔民主クラブ〕

移住促進は

**問** 富良野市への移住希望者に対して、どのような事前説明がされているのか。

**答** 市役所内に「移住相談ワンストップ窓口」を設置し、本市の気候風土、医療機関、交通機関、冬の生活、ゴミの分別、子育て支援等の説明を行っている。  
**問** 移住を促進するに当たっての課題は。

**また、協議会を経由しない移住者の把握は。**

**答** 問題点としては住居と仕事がある。住居については、ニーズに対して供給が少ない。仕事については、希望の職種、給料等の条件が合致しないケースがある。協議会を通さない移住者の実態把握に努力している。

**問** 移住後の問題点とその解消のためのフォロー体制は。

**答** 仕事がなくなり富良野での暮らしを諦めた方や、地域に溶け込めず地域と疎遠になる場合

がある。

現在、移住者と定住者との意見交換の場を設けていて、今後移住者の個別ニーズを掘り起こす中で、問題点を整理しフォロー体制を検討する。

市有財産の利活用は

**問** 旧麓郷中学校の今後の利活用について、方向性を定める時期ではないか。

**答** 地域要望の意見がまとまり次第その意見を踏まえ、利活用検討委員会での今後の利活用又は処分方法を決定する。

**問** 地域環境に配慮した決定を地域は望んでいるが。

**答** 十分配慮した上での決定をしていく。



旧麓郷中学校